



3月のコーヒー価格はアラビカが上昇しロブスタは下落した

2020年3月、アラビカは入手可能性懸念から全てのグループ指標価格が上昇した。一方、ロブスタは67.46セント（USセント/ポンド、以下同様）で0.9%下落した。ICO複合指標価格は下落傾向を反転し6.9%上昇の109.05セントとなった。2020年2月の世界の輸出量は1,111万袋、前年2019年2月は1,083万袋だった。2019/20コーヒー年度経過5か月の輸出量は3.4%減少し5,097万袋である。2019/20年度の世界消費量は、2018/19年度に対して0.7%増の1億6,934万袋と推定されるが、Covid-19により相当な減少リスクを孕んでいる。現在、2019/20年度の需要量は生産量1億6,886万袋を48万袋ほど上回る予想だが、需給環境は急展開を示しており、需給の両面が影響を受けている。ICO事務局は状況を注視しており、情報と分析をICO加盟国およびコーヒーセクターに広く継続して提供する。

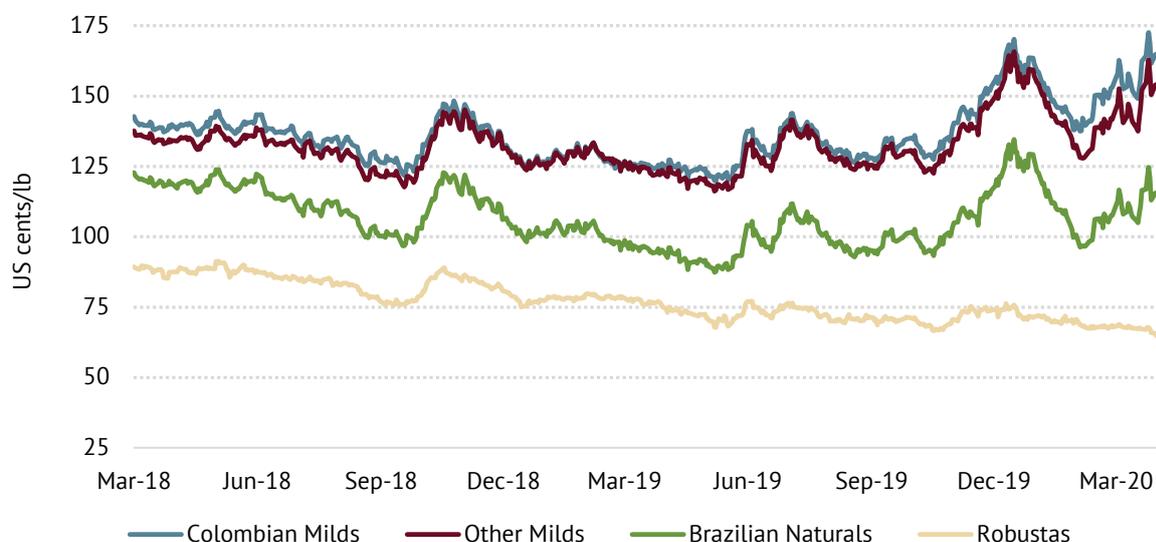
図 1: ICO複合指標価格



ICO複合指標価格は2か月にわたる下落ののち上昇に転じ、2月平均は2月に対して6.9%上げて109.05セントをつけた。これは2019/20コーヒー年度で2番目に高い。

日次のICO複合指標価格レンジは3月17日の103.22セントから3月25日の117.41セントの範囲だった。サプライチェーンの混乱に対する懸念から、特にブラジルのようなクロップイヤーが4月に開始する生産国では3月時点での手持ち在庫が僅かであることから、価格の上昇を招いた。

図 2: ICOグループ指標価格



3月、アラビカグループは全て指標価格が上昇する一方、ロブスタは67.46セントで0.9%下落した。ブラジルナチュラルは10%上げの112.87セント、アザーマイルドは9.5%上げの148.33セント、コロンビアマイルドは8.6%上げ158.99セントである。コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、2月に前月対比2倍以上に広がったが、3月では2.5%縮小して10.66セントとなった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場のスプレッド

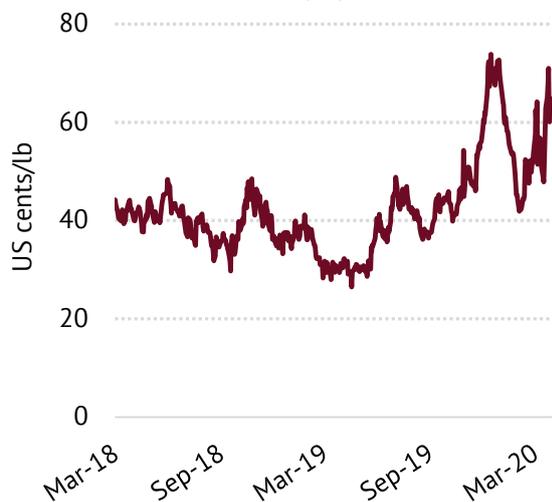
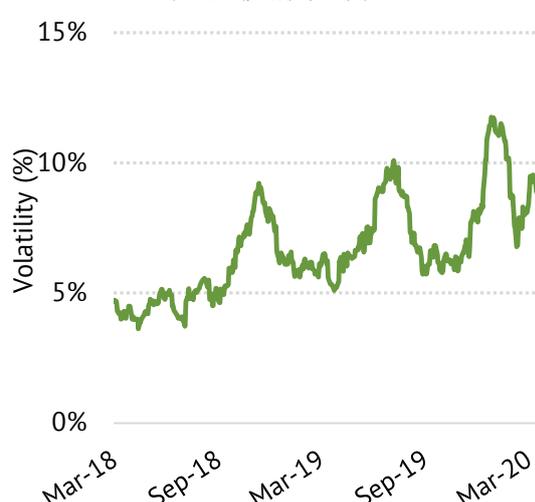


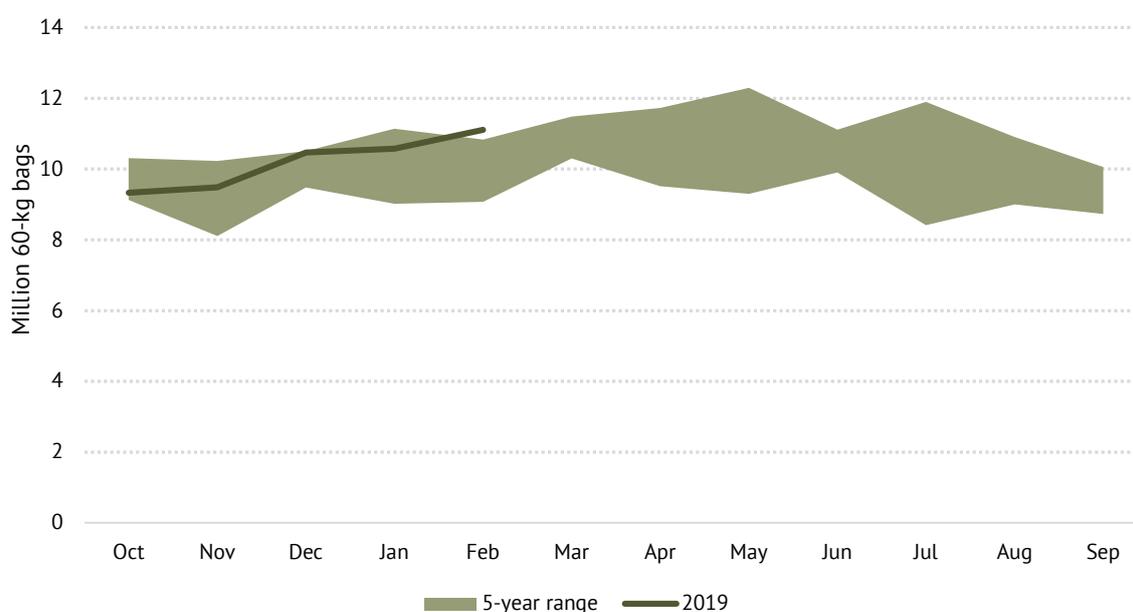
図 4: ICO複合指標価格のボラティリティ (30日移動平均)



3月のニューヨーク先物市場は8.8%上昇して月次平均は116.09セント、一方、ロンドン先物市場は2.8%下落し57.39セントだった。その結果、ニューヨークとロンドンの先物市場で測定されるアラビカとロブスタ間のスプレッドは58.70セントとなり、2月よりも11.03セント拡大した。2020年3月のアラビカ認証在庫は前月比6.1%減の229万袋だった。

ICO複合指標価格のボラティリティは、過去1か月間に1.8ポイント上昇して9.6%である。アラビカは全ての指標価格でボラティリティが上昇している。アザーマイルドは3.5ポイント上昇して11.5%、ブラジルナチュラルは2.6ポイント上昇して13.1%、コロンビアマイルドは2ポイント上昇して10.5%である。ロブスタのボラティリティは4.5%で、2月から2.3ポイント低下している。

図 5: 世界のコーヒー輸出量



2020年2月の世界のコーヒー輸出量は1,111万袋、前年の2019年2月は1,083万袋だった。2019/20年コーヒー年度経過5か月の輸出量は、2018/19年度同期間の5,278万袋に対して3.4%減少の5,097万袋である。2019年10月から2020年2月までのアラビカ輸出は7.8%減の3,186万袋、ロブスタは4.8%増の1,910万袋だった。

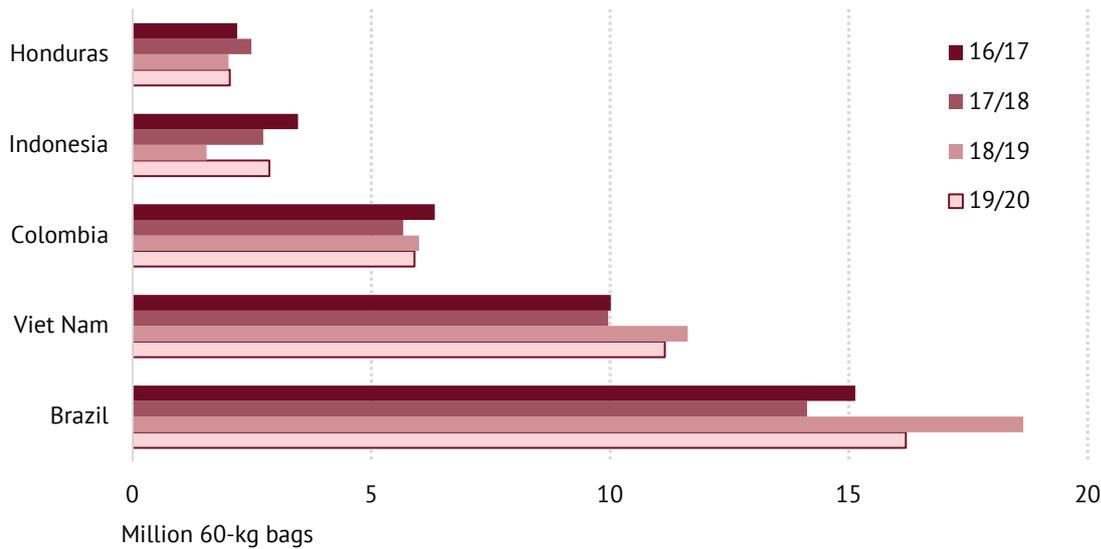
ブラジルの2月の輸出は、2019年2月対比24.3%減の270万袋だった。2019年10月から2020年2月までの輸出は、2018/19年度の同期間に対して13.2%減少し1,619万袋である。2019/20年のブラジルの生産量は5,700万袋と推定され、2018/19年より12.2%低い。アラビカは通常、総生産量の約65~70%を占めるが、2019/20年はアラビカの裏年であることから、本クロップイヤーの総生産量は減少している。

通常、ロブスタ新穀の収穫は4月から、アラビカは6月から開始する。ただし、コロナウイルス感染拡大により収穫作業および輸送のための労働力確保が困難となることから、収穫と輸出の遅れが発生する可能性がある。現在、2019/20年度クロップイヤーの最終時期にあることから在庫が比較的少ないため、短期的に輸出量が減少する可能性がある。

ベトナムの2月の輸出は51.4%増の280万袋であるが、この増加率は前年2019年2月の輸出が例外的に少量だったことによる。また、2019/20コーヒー年度経過5か月間の輸出量は4.1%減の1,115万袋である。2019年10月のコーヒー年度開始時から、ロブスタ価格は2019年11月を除いて毎月下落していたため、ベトナム農家は価格が上がるまでコーヒーを売りに出さず在庫に抱えている。4月1日からベトナム政府はコロナウイルス感染を抑制するために social distancing policy（密接を避ける）を実施した。収穫はほぼ終了しているため生産に大きな影響が出る可能性は低く、生産量は4.4%増加の3,120万袋と推定される。ただし、当面の輸出には影響が出る可能性は残る。

2月のコロンビアの輸出は、2019年2月に対して13.4%減少の108万袋だった。2019/20コーヒー年度経過5か月の輸出は1.6%減少の590万袋である。2019/20年度の実生産量は1.7%増加の1,410万袋と推定される。FNCコロンビアコーヒー生産者連盟によると、2月までの生産量は660万袋である。これは前年同期間に対して8.8%の増加だがシーズン当初の高収量による。コロンビアを経由する中国籍輸送コンテナ便が減少し、2月の輸出に影響を及ぼしているとの報告がある。また、2月の生産量は2019年2月と比較すると9.5%減少しており100万袋を僅かに超える水準との報告もある。コロナウイルスの蔓延を遅らせるため、コロンビアは大統領令により3月25日から19日間の全国的なlockdownが発表されている。コロンビアのミタカクropp（後期クropp）は通常4月に収穫が開始されるが、コロナウイルス封じ込め措置と近隣諸国からの移民労働者（収穫労働力）の減少によって影響を受ける可能性がある。

図 6: 主要生産国輸出数量 (10月-2月)



2月のインドネシアの輸出は前年に対して80.2%増加し876,000袋に達した。2019年10月から2020年2月までの輸出は84.7%増の287万袋である。ただし、これは昨年度生産量が例外的に低い942万袋（対前年比13.2%減少）で、2011/12年度以降の最低だったことが背景にある。2019/20年度の生産量は16.8%増加の1,100万袋と推定されている。現在のところ、COVID-19パンデミックに対してインドネシアが実施する措置によって、ロブスタの収穫と輸出がどのような影響を受けるかを予測することは困難である。

ホンジュラスの2月の輸出は2.8%減少し約80万袋だった。2019/20コーヒー年度経過5か月間の輸出は1.6%増加の204万袋である。2019/20年度の生産量は730万袋と推定され2018/19年度と同水準だが、記録的水準だった2017/18年度の756万袋よりは3.4%少ない。国際コーヒー価格の低迷は既にホンジュラスの生産に悪影響を及ぼしていたが、3月20日以降、全国的な外出禁止令が発出されたことで輸出にも悪影響が予想されている。2019/20年度の収穫は既に完了しており、次の収穫が始まるのは本年後半の遅い時期である。短期的に、輸送用コンテナ船腹の不足あるいは港湾労働者が減少が生ずる場合には、ホンジュラスの輸出は減少する可能性がある。

2019/20年の世界のコーヒー消費量は1億6,934万袋と推定され、2018/19年度に対して0.7%増加見込みだが、Covid-19によってコーヒー消費は世界規模での相当なダウンサイドリスクがある。現在のところ、2019/20年度の需要は生産を上回る見込みで、推定需要量は1億6,886万袋、47万袋の需要超過である。しかしながら、状況は急速に展開しており需給の両面が影響を受けている。コロナウイルス拡散の封じ込め措置の結果として消費の減少、特に家庭外での消費が減少する可能性がある。

また、2020年の世界経済は、失業率の上昇、需要の更なる減少、および価格の下落圧力に伴い、成長率は当初の予測を大幅に下回るものと予想される。その一方で、生産と輸出の両面においてサプライチェーンの混乱が生じると、供給量が一時的に不足することで短期的には価格上昇を招く可能性もある。

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Mar-19	97.50	125.23	123.89	95.81	76.96	98.84	68.61
Apr-19	94.42	124.42	121.13	92.47	73.28	95.31	65.06
May-19	93.33	124.40	120.55	91.95	71.12	94.86	62.45
Jun-19	99.97	133.49	129.73	100.69	74.02	104.44	65.41
Jul-19	103.01	137.63	135.47	105.43	73.93	109.01	64.83
Aug-19	96.07	129.20	126.23	95.85	70.78	99.87	60.90
Sep-19	97.74	131.90	128.89	98.73	70.64	102.81	60.31
Oct-19	97.35	132.09	126.99	98.10	68.63	102.41	58.34
Nov-19	107.23	146.12	140.98	109.94	73.28	113.31	63.00
Dec-19	117.37	161.50	157.11	126.36	73.22	131.44	63.87
Jan-20	106.89	147.52	142.19	110.73	70.55	117.05	61.03
Feb-20	102.00	146.43	135.50	102.62	68.07	106.69	59.02
Mar-20	109.05	158.99	148.33	112.87	67.46	116.09	57.39
% change between Feb-20 and Mar-20							
	6.9%	8.6%	9.5%	10.0%	-0.9%	8.8%	-2.8%
Volatility (%)							
Mar-20	9.6%	10.5%	11.5%	13.1%	4.5%	19.0%	7.5%
Feb-20	7.8%	8.5%	8.0%	10.5%	6.8%	10.5%	7.4%
Variation between Feb-20 and Mar-20							
	1.8	2.0	3.5	2.6	-2.3	8.5	0.1

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
Mar-19	1.34	29.42	48.27	28.08	46.93	18.85	30.23
Apr-19	3.29	31.95	51.14	28.66	47.85	19.19	30.25
May-19	3.85	32.45	53.28	28.60	49.43	20.83	32.41
Jun-19	3.76	32.80	59.47	29.04	55.71	26.67	39.03
Jul-19	2.16	32.20	63.70	30.04	61.54	31.50	44.18
Aug-19	2.97	33.35	58.42	30.38	55.45	25.07	38.97
Sep-19	3.01	33.17	61.26	30.16	58.25	28.09	42.50
Oct-19	5.10	33.99	63.46	28.89	58.36	29.47	44.07
Nov-19	5.14	36.18	72.84	31.04	67.70	36.66	50.31
Dec-19	4.39	35.14	88.28	30.75	83.89	53.13	67.57
Jan-20	5.33	36.79	76.97	31.46	71.64	40.18	56.02
Feb-20	10.93	43.81	78.36	32.88	67.43	34.55	47.67
Mar-20	10.66	46.12	91.53	35.46	80.87	45.41	58.70
% change between Feb-20 and Mar-20							
	-2.5%	5.3%	16.8%	7.8%	19.9%	31.4%	23.1%

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2015	2016	2017	2018	2019*	% change 2018/19
PRODUCTION	154,797	158,471	162,570	169,988	168,864	-0.7%
Arabica	90,982	100,622	97,183	100,081	96,370	-3.7%
Robusta	63,815	57,849	65,386	69,906	72,494	3.7%
Africa	15,557	16,575	17,269	18,388	18,188	-1.1%
Asia & Oceania	49,484	45,652	48,408	48,064	50,649	5.4%
Mexico & Central America	17,106	20,322	21,725	21,345	21,694	1.6%
South America	72,651	75,921	75,167	82,191	78,333	-4.7%
CONSUMPTION	155 491	158 642	162 555	168 099	169 337	0.7%
Exporting countries	47 548	48 488	49 793	50 510	51 018	1.0%
Importing countries (Coffee Years)	107 943	110 154	112 763	117 589	118 319	0.6%
Africa	10 951	11 130	11 527	11 724	11 939	1.8%
Asia & Oceania	32 863	34 573	35 697	36 470	37 511	2.9%
Mexico & Central America	5 295	5 226	5 321	5 401	5 474	1.4%
Europe	52 147	52 045	53 148	55 731	55 395	-0.6%
North America	28 934	29 559	29 941	31 644	31 876	0.7%
South America	25 299	26 111	26 922	27 128	27 141	0.1%
BALANCE	-694	-172	14	1,889	-474	

In thousand 60-kg bags

*preliminary estimates

As the figures in this table are on a coffee year basis, these estimates will vary from the figures published in Table 1 of Coffee Production Report (<http://www.ico.org/prices/po-production.pdf>), which contains crop year data. For further details, see the explanatory note at the end of this report.

表 4: 輸出国の総輸出量

	Feb-19	Feb-20	% change	October-February		
				2018/19	2019/20	% change
TOTAL	10,835	11,110	2.5%	52,781	50,967	-3.4%
Arabicas	7,332	6,518	-11.1%	34,556	31,863	-7.8%
Colombian Milds	1,396	1,215	-12.9%	6,641	6,493	-2.2%
Other Milds	2,434	2,306	-5.3%	9,354	8,773	-6.2%
Brazilian Naturals	3,502	2,997	-14.4%	18,561	16,597	-10.6%
Robustas	3,503	4,592	31.1%	18,224	19,104	4.8%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	Mar-19	Apr-19	May-19	Jun-19	Jul-19	Aug-19	Sep-19	Oct-19	Nov-19	Dec-19	Jan-20	Feb-20
New York	2.81	2.73	2.70	2.70	2.66	2.60	2.55	2.42	2.32	2.49	2.45	2.29
London	1.98	2.11	2.18	2.47	2.60	2.62	2.69	2.64	2.54	2.45	2.57	2.45

In million 60-kg bags

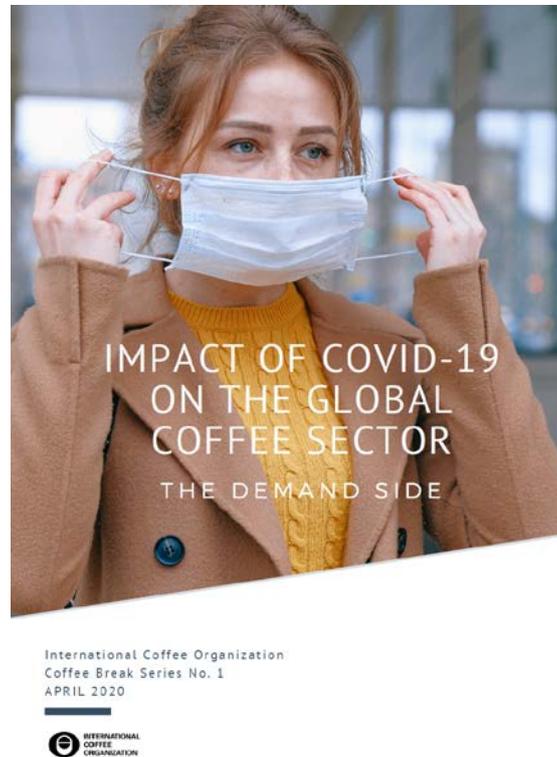
=== 海外情報トピックス ===

2020年4月海外情報トピックスは、ICO国際コーヒー機関が4月8日付けで公表した、
The ICO Coffee Break series (No.1)

Impact of covid-19 on the global coffee sector: the demand side

ICO コーヒーブレイクシリーズ (No.1)

新型コロナウイルスが世界のコーヒーセクターに与える影響：需要サイド
をご案内します。



原文は以下にて入手可能です。(無料)

<http://www.ico.org/documents/cy2019-20/coffee-break-series-1e.pdf>

会員各位のご参考となれば幸いです。



IMPACT OF COVID-19

新型コロナウイルスが世界の
コーヒーセクターに与える影響：
需要サイド

International Coffee Organization 国際コーヒー機関
Coffee Break Series No. 1 コーヒーブレイクシリーズ No.1
APRIL 2020

新型コロナウイルスが 世界のコーヒーセクターに与える影響： 需要サイド

ICO Coffee Break Series

No. 1

8 April 2020

レポート概要

- 新型コロナウイルス（COVID-19）パンデミックは、世界経済に大きな影響を与える劇的な公衆衛生危機である。
- COVID-19の広がり、相互依存する世界で前例のない経済ショックを示している。需要と供給が世界規模で、またコーヒーセクター全体で縮小していくためである。
- COVID-19のパンデミックは、生産、消費、国際貿易を含む世界のコーヒーセクターに大きな影響を与える可能性がある。
- この短いレポートは、COVID-19の需要サイドの影響、特に世界的な景気後退がコーヒー消費に与える影響について予備的な評価を提供するものである。
- 分析は、1990年から2018年までの期間をカバーする、世界の需要の71%を占める上位20のコーヒー消費国のサンプルに基づいている。
- 分析評価の結果は、GDP成長率が1ポイント低下すると、コーヒーの世界的な需要の伸びが0.95ポイント、つまり60 kg袋で160万袋が減少することを示している。
- 更に、ホスピタリティ業界の大部分が封鎖され、職場が閉鎖されているため、需要サイドへの影響は、social distancing measures（密接を避ける）による家庭外消費への影響にも及ぶ。
- COVID-19パンデミックの供給サイド影響を分析するには、全世界のコーヒーセクターおよびコーヒーバリューチェーンに関係する人々への全体的な影響を理解するためが必要である。これらは今後、ICO Coffee Breakシリーズにて検証評価する。

ICO Coffee Breakシリーズは、情報に基づいた議論を促進することを念頭に、コーヒーセクターにおいて関心の高い時事問題に簡潔な説明と報告を提供することを目的としている。このシリーズは、コーヒー政策や戦略に関連してICOの経済統計部署で実施された分析に基づいている。

問題の所在

僅か数週間のうちに、新型コロナウイルス（COVID-19）の蔓延が世界的な公衆衛生危機に発展し、180以上の国と地域が影響を受けている。これまでに130万人以上がウイルス感染し、7万人以上の死者が出ている。¹

更に、COVID-19のパンデミックは人々の日常生活に影響を与えており、世界の経済に大きな影響を生じている。COVID-19危機は需給ショックとして国際貿易の流れと生産系統に衝撃を与える。政府は、人命を救い経済的損害を軽減するための政策を実施しているが、世界的な景気後退が進んでいる。ほとんどの国際機関や研究機関は、期近での経済成長の急激な低下と失業率の上昇を予測するとともに、その後の回復を見込んでいるが、回復の程度は、COVID-19危機への対応策の有効性、そして自信の回復の速さに依存する。²

COVID-19の感染拡大は、長期にわたり生産者価格の低迷を経験してきた世界のコーヒーセクターに対して深刻な課題を新たに提示した。セクター全体の着実な成長にもかかわらず、コーヒー価格は2016年以降、継続的な下降傾向を示し過去10年間の平均を30%下回っている。農業インプットの価格が上昇し続けているため、世界の2500万人のコーヒー農家の多く（その大部分は小規模農家）が営農コストを賄うのが困難な状況にある。結果として、農家の収入は減少し生計の維持は危険に晒されている。農場の近代化と気候変動影響への適応に対する投資が為され無ければ、コーヒーセクターの持続可能性と将来のコーヒー供給に深刻なリスクが顕在化するだろう。³

¹ Estimates of the John Hopkins University [Corona Virus Resource Centre](#) (accessed 7 April 2020).

² For example, OECD: “[Evaluating the initial impact of COVID-19 containment measures on economic activity](#)”, 27 March 2020.

³ For a comprehensive assessment of the root causes and impact of the coffee price crisis, please refer to the [ICO Coffee Development Report 2019](#).

COVID-19の感染拡大は世界のコーヒー業界にどのような影響を生じるだろうか？
以下の分析は、パンデミックの需要サイドの影響に焦点を当てる。

分析および結果

短期的には、ますます多くの国が全面的または部分的な封鎖を採用しているため、家庭外での消費⁴ は大幅に減少している。ウイルスの蔓延を抑えるため、オフィス、コーヒーショップ、レストランは閉鎖されたままだ。

一方、小売およびスーパーマーケットのデータは、パニック買いと買い溜めにより一部の国では消費者需要の増加に繋がったことを示唆している。⁵ ただし、これが消費に持続的な効果を与える可能性は低い。初期の需要急増に続いて、消費者が自宅に買い溜めしたコーヒーを消化することになるわけで、今後数週間から数か月は反動としての需要減少が避けられない。

COVID-19パンデミックに起因する直接および間接の影響によって生じた世界的な景気後退が、世界のコーヒー需要に対して大規模な影響を与えることが予想される。世帯収入の減少は、数量ベースでのコーヒー需要の減少につながる。さらに、価格に敏感な消費者が価格の高いコーヒーから安いコーヒーに、ブレンドやブランドに置き換えることも予想される。ただし、総じてコーヒー需要の所得弾力性は低く、特に高所得国や1人当たりの消費率が高い伝統市場ではその傾向が強い。

以下の定量分析は、GDP成長率とコーヒー消費量（数量ベース）の関係を明らかにしようとするもので、COVID-19パンデミックによる需要サイドショックの推定値を示している。

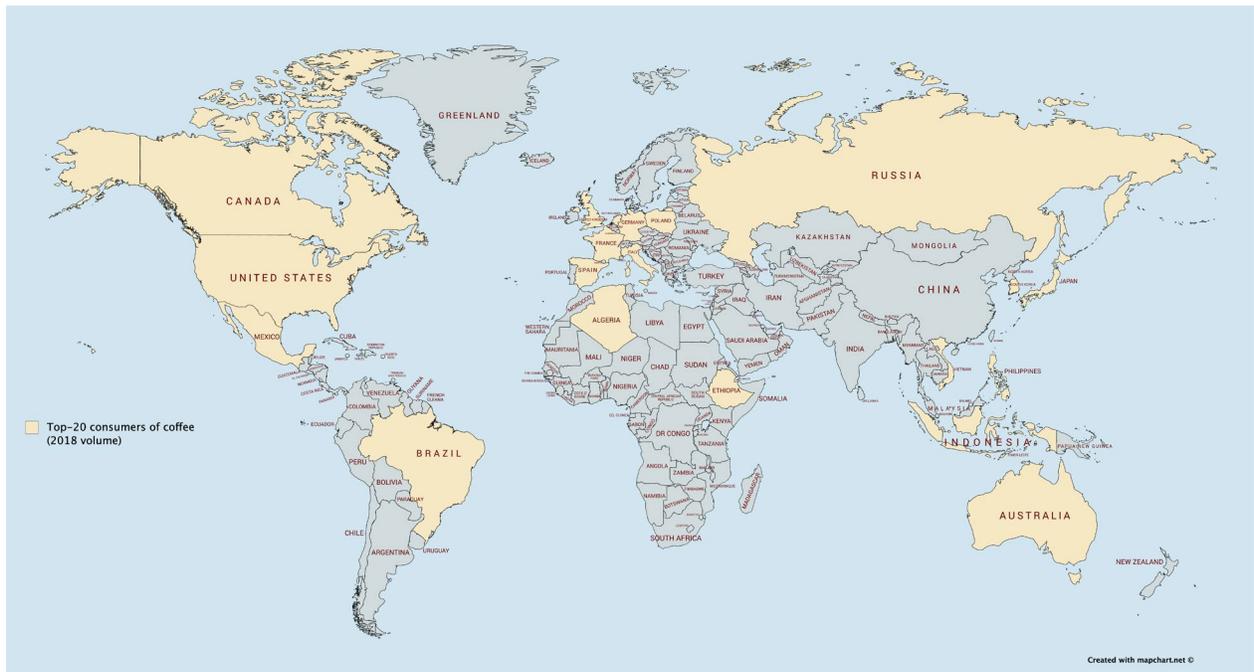
⁴ In 2018, coffee consumed out-of-home represented approximately 26.1% of the total quantity of coffee consumed worldwide according to an [estimate](#) by CoffeeBi, a consultancy.

⁵ Market research institute IRI recorded an increase of demand in the roasted coffee category. In the week ending 15 March consumer spending in Italy and France had increased by 34.6% and 29.5%, respectively, compared to the same period last year. The full report is available [here](#).

サンプルおよびデータ

データセットとして、ICOグローバルコーヒーデータベースに基づくコーヒー消費の経年測定⁶、および世界需要の71%を占める最重要コーヒー消費国20カ国について、国連（UN）および世界銀行の経済指標と人口統計指標を使用している（図1）。データセットには変数として578個の国別年間観測数値が含まれる。

図1：対象サンプルはコーヒー消費上位20カ国（2018年数量ベース）



Source: ICO

データの見視検証

最初のステップとして、対象変数（コーヒー消費の成長）と主要因子（GDP成長）の関係を視覚的に検証する。図2は、コーヒー消費の年間成長率に対してプロットされた年間GDP成長率を示している。どちらの変数もパーセンテージで表示する。図2の各ポイントは、サンプルとする20カ国の年間平均値を表す。

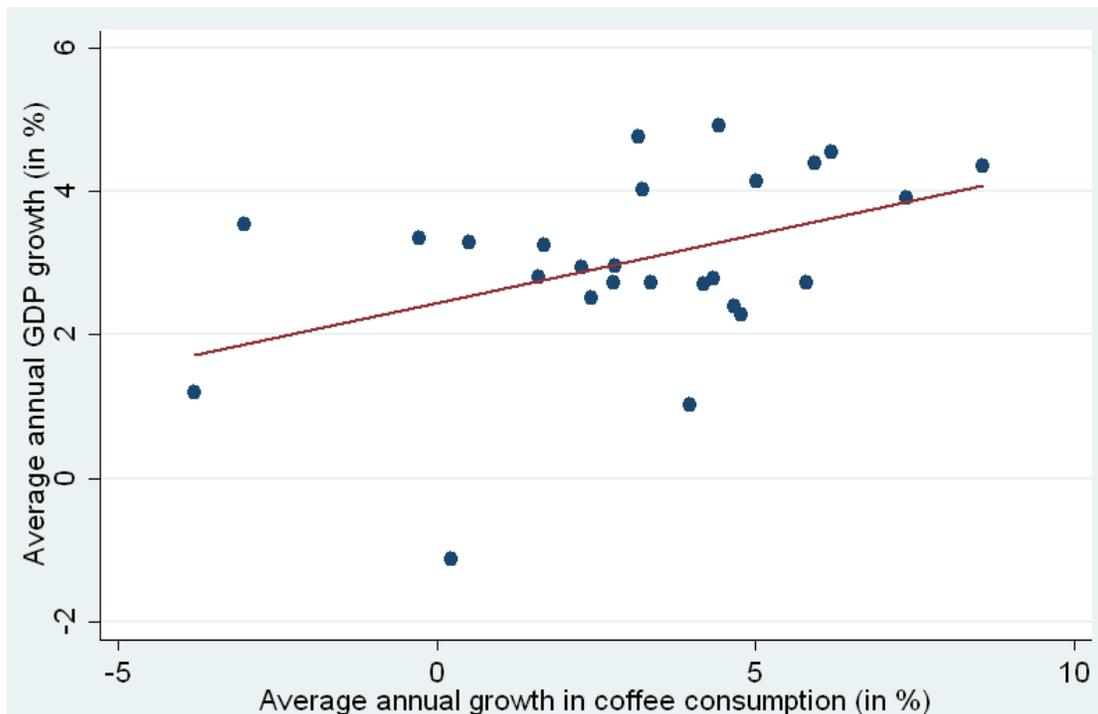
⁶ Consumption refers to 'net-imports' of coffee importing countries and 'domestic consumption' for coffee exporting countries as per ICO definition.

各ポイントの分布は、サンプルの年間GDP成長率の平均が-1.1%から+4.9%の範囲に、また、コーヒー消費の平均年間成長率は-3.8%から+33.1%の範囲であった。

(なお、異常値として図示から除外されたポイントが2つある)

線形回帰線（赤線）は、GDPの成長とコーヒー消費の成長の間に正の関係があることを示している。ただし、より確かな推定には、消費の促進要因としての当該国固有の特性や年次の特性（たとえば、コーヒーの価格、特定年の穏やかな冬、暑い夏）を精査する必要がある。

図2：コーヒー消費量の上位20か国におけるGDP成長率とコーヒー消費量成長率の関係（1990年から2018年までの年間平均）



Note: Two outliers have been removed from this graph (years 1992 and 1999)

Source: Own analysis based on ICO and World Bank data

計量経済分析および結果

GDPの成長とコーヒー消費の成長の関係を検証するために、回帰分析フレームワークが採用されている。追加的な要素として、消費国それぞれの社会経済開発、市場規模、コーヒー市場の成熟度とその経年要素がある。

一連の回帰分析モデルを通じて、GDP成長とコーヒー消費量が相関していることを示しており、統計的に高い水準で有意である（モデル仕様については、ANNE 1 参照）。

分析結果は、世界のGDP成長率の1%の低下が、相対的に、コーヒー消費量の0.95%の減少と相関していることを示唆している。⁷ これは世界のコーヒー需要の伸びが絶対量で160万袋（60 kg）減少することを意味する。⁸

これらの結果は、COVID-19パンデミックの結果としてGDP成長率が僅かに低下した場合でも、世界のコーヒー需要に大きな影響を生じる可能性を示している。分析モデルは、GDP成長の大幅な低下または世界的な景気後退が、それに比例して大きな影響を発生させることを予測している。これまで世界のコーヒー需要は（年間2～3%の割合で）着実に成長してきたが、今回のCOVID-19パンデミック危機の前との比較において、コーヒー需要は停滞（または減少さえ）する可能性がある。

議論と次のステップ

分析結果は20か国のサンプルによる履歴データの分析作業に基づいている。過去の地域的および世界的な景気後退によって、その影響が反映される諸々の影響や結末にはかなりのバラツキがある（たとえば、1998年のアジア金融危機、2008年の大不況）。基本的には、このバラツキは統計上のノイズ（乱れ）影響を分離するのに役立ち予測がより確かなものになる。

⁷ This assumes that the relationship between GDP growth and growth in coffee consumption established for the sample countries is similar in those markets that are not included in the sample (the remaining 29% of global coffee demand).

⁸ This estimate is based on global demand for coffee of 168 million 60-kg bags in 2018, the final year of the underlying dataset.

しかしながら、分析モデルの予測力にはいくつかの制限もある。それは予測に使用される過去のデータに関連しており、多くの場合、**COVID-19**パンデミックの影響が並外れて大きいことに起因している。

第1に、これまでの金融危機のどれもが、ショックの規模と深刻さ（しかし、回復の可能性もある）において、**COVID-19**パンデミックが世界経済に及ぼす影響には及ばないこと。

第二に、**COVID-19**パンデミックに対応し政府が講じる措置の多くは前例がないこと。例えば、**social distancing measures**（密接を避ける）により、小売業、接客業、観光業の大部分が閉鎖されている。これにより家庭外でのコーヒー消費に深刻な影響を与える可能性があり、減少分が家庭での消費によって補われない場合にはコーヒーの需要全体が影響を被る事態となる。

最後に、この短いレポートで分析されたコーヒー消費量の減少に加えて、代替効果の発生が想定されること。価格に敏感な消費者は、**COVID-19**パンデミック危機以前に購入していたコーヒーに替えて安価な代替品を探すだろう。つまり、ハイエンドブランドやスペシャルティコーヒーを、より低価格なコーヒーに換える。この影響の定量化には更に調査を要する。

今回のレポートは、世界のコーヒーセクターに対する**covid-19**パンデミックの影響とその程度や範囲を検証する最初のステップであり、公的部門および民間部門の全ての利害関係者の議論に向けて情報を提供するものである。

今回ここに提示した分析は、需要サイドへの影響に焦点を当てたものである。しかしながら、**COVID-19**パンデミック危機は、当然ながら、供給サイドにも影響を与える。ウイルス感染はコーヒー生産国でも広がり続けていることから、コーヒー生産とサプライチェーンにも深刻な混乱を生じる可能性が高い。

従い、国際および国内のコーヒー価格を始めとして、コーヒー市場が受ける正味の影響の全体像を理解するため、分析の対象を供給サイド側に拡大する必要がある。

COVID-19パンデミック危機を克服しグローバルコーヒーセクターの長期的な持続可能性を確保するために、効果の高い緊急措置と回復施策を特定することは、コーヒー生産者、トレーダー、ロースター、そして消費者に対するパンデミックの影響を具体的かつ十分に理解して初めて可能になる。

ANNEX 1: Econometric approach and regression results

(計量経済学的アプローチと回帰分析結果)

以下割愛。

必要に応じ原文をご参照ねがいます。